

CONTENTS

●特集

平成30年食肉加工品の動向

●窓

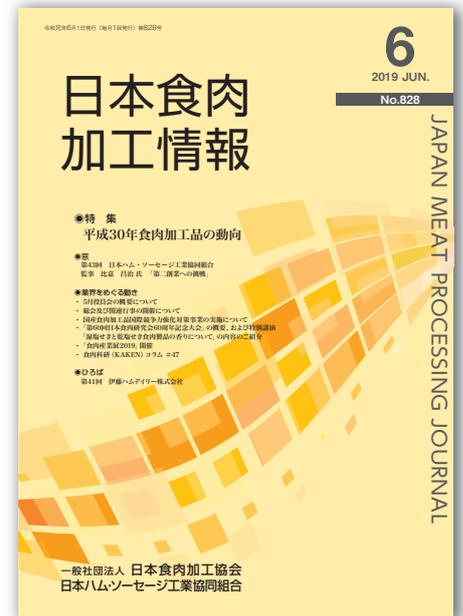
第43回 日本ハム・ソーセージ工業協同組合
監事 比嘉 昌治氏 「第二創業への挑戦」

●業界をめぐる動き

- ・5月役員会の概要について
- ・総会及び関連行事の開催について
- ・国産食肉加工品国際競争力強化対策事業の実施について
- ・「第60回日本食肉研究会60周年記念大会」の概要、および特別講演「湿塩せぎと乾塩せぎ食肉製品の香りについて」の内容のご紹介
- ・「食肉産業展 2019」開催
- ・食肉科研 (KAKEN) コラム #47

●ひろば

第41回 伊藤ハムデリー株式会社



特集をちよっと読み



SPECIAL
EDITION

特集

平成30年食肉加工品の動向

独立行政法人農畜産業振興機構 調査情報部 国際調査グループ

平成30年食肉加工品に関する年間統計資料がまとまりましたので、お知らせいたします。

1. 生産量

平成30年の食肉加工品の合計生産量は、554,342.0トン（対前年比100.0%）と増加（+80.2トン）し、昨年に引き続き過去最高の生産量となりました。その内訳は、ハム類112,105.6トン（同100.9%）、ベーコン類96,879.8トン（同101.7%）、ソーセージ類319,460.2トン（同100.2%）、プレスハム類25,896.4トン（同88.8%）となっており、プレスハム類を除く全ての品目で増加しました。このように、プレス

ハム類の生産量は100%を下回ったものの、全体としてはわずかではありますが前年を上回る結果となりました。

2. 仕向肉量

製品製造のための原料肉の仕向肉量は、449,169.0トン（対前年比100.1%）とごくわずかですが対前年を上回りました。その主要な原料の内訳は、豚肉が376,599.9トン（同100.0%）、鶏肉が53,526.7トン（同101.3%）となっています。豚肉のおよそ2割は国内物ですが、その量は対前年比93.0%と昨年に引き続き減少しています。

続きは定期購読で！

定期購読のお問い合わせ

一般社団法人日本食肉加工協会 日本ハム・ソーセージ工業協同組合 総務部

TEL : 03-3444-1211 FAX : 03-3441-8287 E-mail : ask@hamukumi.or.jp